

健康のいずみ

2025
12
No.624

いのち・平和・人権・つながる

仲間増やし強化月間
取り組み中！(9～1月)
友の会新規入会…1606人
(11月18日現在)

社会医療法人社団健生会・広報紙
発行：広報委員会
〒190-0022 東京都立川市錦町1-23-25
電話 (042)523-2375 F A X (042)528-2860
URL: <https://www.t-kenseikai.jp/>
E-mail: izumi@t-kenseikai.jp
2025年12月5日 No.624



訪問行動から見た地域の変化

進む孤立、求められる 多様なつながり



上、下左：訪問した職員の
話に耳を傾けてくださる
住民の方々。
下右：集合住宅の掲示板に
貼ってある友の会の送迎
車の時刻表。

健生会と地域をつなぐ友の会の仲間を増やす取り組みが、今年はこれまで以上に活発に行われています。立川市での団地訪問では、病院内からは見えにくい地域の方々の暮らしが見えてきました。大きく変化する社会のなかで、私たちに期待される役割は何か、大きなヒントと切実な課題を持ち帰ってきました。

「こんにちは、立川市。そのうち半数相互病院の職員です。寒くなってきましたが体調はいかがですか？」、10月下旬、健生会職員と三多摩健康友の会立川支部の25人が数人ずつのグループに分かれ、立川市の曙町3丁目都営アパートの友の会会員さん、健生会の事業所に通院される患者さんのお宅約60軒を訪問しま

した。そのうち半数の方とお話しでき、新たに2人の方に友の会に入会していただきました。職員らの「お困りごとや心配なことなどありますか？」との問いかけに、「何とかやっているけど」と、ご自身や家族の身体の不調や経済的な不安を話される方、認知症外来の有無や受診方法を尋

ねられる方、「何かあれば私たちに相談ください」という言葉に頷いてくださる方…。「インターネット越しのお話となることも多いのですが、立川相互病院やふれあいクリニックの職員であることを申し上げると安心してくださる方も多くて…。地域に長く根付いている医療機関への信頼を肌で感じた瞬間でした」と訪問に参加した職員は話します。

地域に生じている「変化」

今回に先立ち、9月下旬にもふれあいクリニックの職員が中心となり立川市の羽衣町都営住宅を訪問しましたが、そのなかでこれまでにはなかった「地域の変化」を感じたと三多摩健康友の会立川支部長の若森剛さんは話します。

「訪問の了解を得るために団地の自治会長さんに事前にご連絡すると、『友の会会員だけでなく、多数いる独居世帯も訪問してほしい』とい

訪問に参加した職員の声

- ・周囲のことを気にかける面倒見のよい住民の方が、団地の中で大きな役割を果たされていた。しかし、つながりは急にできるものでなく、長年の関わりと信頼の賜。
- ・エレベーターは奥行きがなく、ストレッチャーは入らない。緊急搬送時の対応が気になった。
- ・住民の方が集まっていた活動は減っているとのこと。病院職員や友の会の訪問は、生活や体調の困りごとを誰に相談していいのかわからない方にとってつながるきっかけになる。
- ・心配事も相談できる居場所的な班会、気軽に参加できるイベントなどが必要。
- ・何かあれば気軽に相談できる友の会の役員さんを窓口にして、友の会へ相談→受診、公的制度の紹介などにつなげることができる。今後、より重要となる役割。
- ・患者さんとしてではなく、そこに暮らす住民としてお話しすることができ、訪問の意義を実感。
- ・突然の訪問を不審に思う方もいた。日頃からの関係づくり、友の会活動紹介が大切。
- ・訪問後のふりかえりの場では、「介護保険の利用は？」「手すりの有無は？」など、職員それぞれの専門からの目線での報告も交わされた。



「急速に進む高齢化のなかで、地域の高齢者の移動手段やつながりが足りない現実が見えてきました。そのなかで友の会のゆるく、長期に寄り添う活動がこれまで以上に求められています。」

つながりを保てない、地域の現実

築50年超の曙町3丁目都営アパートは

現在、空き家も目立ち、居住者の多くが高齢者で半数近くが独居世帯です。

「たとえば息子さんが週に1回来るヘルパーさんに入ってもらっているなどして、足腰の弱ってきた高齢者たちが食料の準備・買い物など日常生活に困難を抱えながら暮らしているのが現状」と団地に長く暮らし、友の会役員で

多摩市内で唯一の民医連診療所として、「多摩みなみクリニック」が開設して四半世紀が経ちました。今、医療経営情勢がきびしいなか、私たちは地域の皆さまに安心して通っていただけなクリニックであり続けるため、日々の工夫と努力を重ねています。当クリニックは今まさに開設以来の変化の時を迎えており、医師体制を拡充し新しい診療体制のもと、より地域に開かれた診療所をめざしています。▼12月12日には、当クリニック3階で田村英俊・新所長による「生活習慣病」をテーマにした講演会を予定しており、健康づくりを地域の皆さまと一緒に考える機会にしたいと思っています。またこの秋には友の会事務局がクリニックの3階に移転し、足を運んでくださる方も増えてきました▼これからも診療の機会だけではなく、地域のよりどころとして気軽に立ち寄っていただけのような、温かく信頼されるクリニックとして皆さまとともに進んでいきたいと思

(2面へつづく)

【連載】

立川相互病院の風景



病院の赤字と
そうじについて

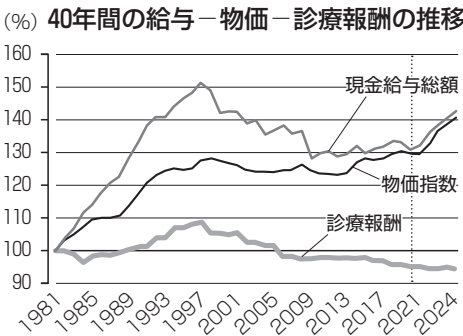
第65回

病院の清掃・警備は、専門業者に委託。主に外国から来た若い人たちが一生懸命そうじしてくれています。

ところが、業者さんから、契約を年1億円から1億4千万円に上げてほしいという要求が。当節何もかも値上げであつちも厳しい。

それは、わかるけど、こつち（医療）の値段は国で決まっています、値上げできない。

以前、本欄に「病院は生かさぬよう殺さぬよう」と書きました。（2022年6月）自民党政府は40年にわたって、医療の



40年間で、給与水準、物価指数が130%に増えて、診療報酬は95%と逆に減らされてい

【立川相互病院院長・高橋雅哉（外科医）】

う「医療費亡国論」を喧伝。

公定価格II診療報酬を全く上げず、まじめな医療を行う病院ほど赤字に苦しむことを「良し」として知らん顔をしてきました。

病院でいうと、ベツドの利用率が90%を下回ると日々の費用さえ賄えなくなり

コロナ禍を経て、いま、医療機関の経営は極端にひどくなり、息もタエダエ。日本医師会の調査では、診療所は4割、病院は7割が赤字。

一年中ほとんど満床で全力疾走。挙句にコロナで病院があふれて社会がアウトになったのはつい4年前のこと。

なのに、国は、「医療費が増えると社会が活力を失う」とい

グラフは、給与水準（現金給与総額）、物価指数、診療報酬の推移です。コロナ前、1981

さらに最近の3年間、物価がハネ上がり

国民医療費の4割を国と自治体が、2割を雇用主II企業が負担している。ケチ

な悪党どもはこれを減らしたい。しかし、そもそも、国や企業が医療費の一部を負担するのは、国民を働かせて吸い上げた利益を還元するために法律で決まっ

でも、医療費削減を悲願とする自民党政府、財界。多少の病院がつぶれるのはむしろ望むところ。

えい、「病院なんか生かさず殺してしまえ」と。少なくとも老朽化した病院では建て替えは不可能。閉院せざるを得ず、結果的に病床は削減されます。

くり返しますが、病院の赤字は、政府によって意図的に作られてきた赤字です。

さて、病院の清掃。考えあぐねた事務長、業者さんに、「清掃の回数を減らして値段つけてください」と。もはや涙もちよちよ切れて

（1面からつづく）

もある新井智恵子さんは話します。

新井さんは周囲に友の会の健康チェックイベントなどを積極的に紹介していま

す。しかし今や、多くの人が興味はあっても少し距離のある会場まで足を運ぶことが難しくなっていると言います。「人が集まることさえ従来の方法では成り立たなくなっています。団地の集会所などで開催できれば参加できる人もいます。

今、団地の自治会とも集会所の使用などを相談しています」と話します。

立川市内の都営住宅でも孤独死事例が相次いでおり、自治会も住民もつながりをいかにつくつていけばよいのかと危機感を募らせています。

「共同のいとなみ」の価値を問い直す

松崎正人・社保組織部長は話します。「民医連綱領には、



訪問後、団地の集会所に集まり各グループの報告を聞く職員たち

『共同のいとなみ』という考え方があります。民医連はもともと、地域住民の要求から生まれた医療

機関であり、地域住民組織である友の会と医療機関が一緒に活動することで目指す医療や介護を実現

してこういうものなんです。しかし時代を経るなかで、職員にとつてその意識は希薄になったのかもしれない。今、立川での2回の訪問活動から見えてきたのは、自分たちの医療・介護活動と地域をつなぐのが友の会であること、両者の共同を進化させなければ今の高齢社会や孤独死などの厳しい現状に踏み込んでいくことはできないということです。職員と友の会

で地域を訪ねることを、もっと日常的に継続していく必要があります」
図らずも今、貧困格差や困窮が進行し、戦後の民医連診療所設立の頃の様相に酷似してきているのかもしれない。当時の社会との大きな違いの一つは、地域コミュニティの力が弱まっていること。今、民医連が掲げた「共同のいとなみ」の価値を改めて見直す大切な局面にあります。

連載

認知症になっても自分らしく暮らすために！

かつてブティックを経営していたYさんは現在、団地で一人暮らし。近隣との交流はあまりなく、義理の妹さんとも疎遠です。Tクリニックから「栄養状態がとて

第2章 地域で暮らし続けるためのヒントをさがして

② 不可解な行動や拒絶の背景にあった、深い不安

服部 文恵
(コスモス国立・介護福祉士)



エピソード

訪問介護、デイサービスなどの関係者らがYさん宅を訪問してみると、さまざまな問題が見えてきました。「食材を購入しても翌日にはなくなっている」「エアコン・テレビ・電話など家中のコンセントを抜いてしまう」「鍵やリモコンなどをすぐ失くしてしまう」「ヘルパーが使う掃除用具、買い物用の現金ファイルなどを隠してしまう」「冬用の衣服や下着がない」…など。金銭管理の権利擁護担当者に対しては不信感を露わにし、「私のお金なのになぜおろせないの！」と郵便局へ訴えに行ったこともあり

いろいろなお話できるようになった頃、Yさんがポツンと言ったことがあります。「私は一人だから怖い…どうしたらいいかわからない…」と。このとき改めて、Yさんは毎日不安の中で暮らしているのだと知りました。コンセントを抜く、大事な物を隠す…どの行為にも理由があるのだと。



▶ 認知症の人を孤立させないためのポイント

認知症の方は閉じこもりがちになる傾向があり、地域社会から孤立してしまうとますます生活実態は見えにくくなります。実際にヘルパーが入ってみたら、生活は破綻し低栄養状態に陥っていた…といったケースは多々あります。訪問介護では、「食事の提供など受け入れやすいことから入る、利用者さんのペースに合わせる、よく傾聴し時間をかけて信頼関係を築いていく」などの工夫をしています。認知症の方を孤立させないためには、まずは多くの人が関わってそれぞれの視点から日常生活の細部を支えることが大切であり、そうして初めて地域の一員として暮らしていけるものと実感しています。



どっちから聞きたい？！

山本裕子さん（三多摩健康友の会立川支部）

GOOD 今年7月に受けた左股関節の人工関節手術によって、とても動きやすくなったこと。

BAD コロナ禍で公立病院の重要さを社会は目の当たりにしたはずなのに、公的病院の存続が今本当に危ぶまれていることがクローズアップされません！都には十分な財政力があるはずなのに、なぜ守らない？！

高橋雅哉さん（立川相互病院院長）

GOOD みんなが今日も医療を回してくれている。日々これ好日。

BAD 高市首相がトランプに兵器爆買いを約束。「いい子、いい子」されて、ぴょんぴょん。まさに国辱。バカまる出し。

駒井 恵さん（多摩薬局・薬剤師）

BAD 業務に追われて患者さんとの対話が十分にできないと感じること。

GOOD その中でも信頼の言葉をいただき、支えになれていると実感できること。

川畑諒太郎さん（立川相互病院・研修医）

BAD 韓国旅行でソウルのカジノに行き見事に負けたこと。最初は勝っていたのに、欲が出てから流れが変わり…、しかない経験になりました。

GOOD 5月にスパルタンレースに出場し完走したこと。過酷な障害や泥だらけのコースに苦戦しましたが、仲間と励まし合いながらゴールした瞬間の達成感は格別でした。

佐賀恭子さん（立川相互病院・看護師）

GOOD ひらがなも読めない！書けない！だった娘が小学校1年生に。親の心配はそっちのけに、「学校楽しい！（勉強はいやだけど）」（笑）と元気に毎日を過ごしています。

BAD 気合を入れてエステ通いを始めたのに体重2kg増！原因はどうやら日々の歩数の減少。やはり地道な努力がいちばんです。来年は1日3千歩上乘せをめざします！

蓮池安彦さん（法人医師部事務部長）

GOOD 長女の結婚式で娘と共にウエディングロードを歩いたこと。長女の晴れ姿に感動し、緊張と喜びがまじりあって、ぎこちない歩きに…。

BAD その日の式服が体重増のせいでパツパツになってしまったこと。次はもっとしっかりしたいと思います。

増子基志さん（法人専務理事）

GOOD 原因不明の痛みで夜も眠れず、内科で診察を受けるが「原因不明」で不安増大。翌日、発疹が出て皮膚科に受診。「带状疱疹」と診断がついてホッとしたこと。

BAD 「带状疱疹」になったこと。

渡邊正絵さん（法人事務局総務課）

GOOD 北海道旅行で見た満天の星空や屈斜路湖に広がる雲海の絶景。足の自由が利かなくなり外出も億劫になっていましたが、運転できるようになった息子の誘いで行った家族旅行は、旅行の楽しさを思い出させてくれました。

BAD 突然の「健康のいずみ」編集委員会事務局担当に！健生会には長く勤めていますが、理系女子の私には畑違いの職場で悪戦苦闘中です。

中村美佐子さん（法人看護部長）

BAD 家庭菜園で、1畝（うね）に大根の種を植えました。が、両端のたった2つしか芽が出ませんでした。

GOOD 4歳の孫がテレビやタブレットを顔がくっつくばかりに見ているので、もしや視力が悪いのでは？と眼科受診へ。「視力は両眼1.0。問題なし」との結果に胸を撫でおろしました。

医師が語る

私の中の プロフェッショナリズム とは…

第10回

宮城 調司 医師
（あきしま相互病院
内分泌代謝糖尿病内科）

伴走型医療、それこそが私の目指す医療

現在、内分泌代謝糖尿病内科に所属しています。外来診療では、主として糖尿病を有する方を対象にしています。

医療を志したのは、幼少期に遡ります。気管支喘息で病院にお世話になることが多く、自分も助ける側になりたいという思いからでした。

医学生時代に、ある大学病院の心臓血管外科教授の外来にて。患者さんは、話を聞いて欲しい、さまざまな訴えをしてくれます。「黙って。」と話を遮り、心音聴取、心電図・レントゲン確認、「心臓はいいですからね。」と診察終了。専門家とはこういうものなのか、と妙に感心しました。

そんななか、立川相互病院の病院見学にて、患者さんの訴え・地域のニーズに応えようとする、診療所や訪問診療に熱心な医師の姿に感銘を受けました。健康診断での疾患の拾い上げ、急性期疾患での入院診療、大規模診療所から地域密着型診療所での外来診療、加齢で通院困難な場合の訪問診療などさまざまな医療を展開していて、私の理想に合致していました。そのため、2001年立川相互病院に入職しました。その後、先輩医師の姿を沢山見て、現在の内分泌代謝糖尿病内科へ進むことを決めます。

当科は、慢性疾患を対象にしていることもあり、外来での付き合いも長期に渡ります。外来診療を通して、働き盛りから退職後、さまざまなライフイベント、合併症や癌など他の疾患の発症など、一緒に経験してきました。外来での付き合いも20年以上という方も多く、家族に次ぐ、近しい間柄のような感覚を持っています。私が研修医の頃から通院している患者さんが、遠方のため通院できなくなるなど経験し、寂しさとともに、一緒に歩んできた年月を感慨深く感じる今日この頃です。伴走型医療、それこそが私の目指す医療です。

●みやぎ・ちようじ／2001年健生会入職。2018年より立川相互病院内分泌代謝糖尿病内科科長を歴任し、2025年よりあきしま相互病院副院長



暮らしの健康教室¹⁰¹

福島早織・保健師



寒冷順化のすすめ

身体を寒さに慣らして冬の準備を！



図「寒冷順化」のポイント

首・手首・足首を温めて積極的に外に出る
下肢の筋トレ
湯船につかる
手先・足先に湯と冷水を交互にかける

湯船につかるのもよいです。40℃までのお湯に10～15分程度つかりましょう。リラックス効果が得られ、体温調節に必要な自律神経のバランスを整えます。温かいお湯に3分つかり、その後30秒ほど冷水のシャワーか水を入れた風呂桶で手先や足先を冷やすのを1～3セット繰り返す方法もよいです。

筋肉を鍛えて血流アップ
筋肉をつけることも大切です。とくに大きい筋肉のある下肢の筋トレがお勧めです。足の筋肉を動かすことで、ポンプ機能により全身の血流がよくなり身体が温まります。かかと上げやスクワットなどを行ってみましょう。
かかと上げ運動は、かかとをできるだけ上げて5秒キープしてから下ろします。テーブルや手すりなどの近くで行いましょう。スクワットは足を肩幅に開いて、膝がつま先より前に出ないよう意識しながらゆっくり腰を下ろしていきま

表 形成外科の対象疾患例

- 新鮮外傷（とくに顔面外傷、顔面骨骨折、鼻骨骨折など）
- 熱傷（やけど、手術対応可能）
- 慢性創傷（糖尿病性足病変、褥瘡、難治性潰瘍など）
- 皮膚腫瘍切除（良性/悪性ともに。粉瘤や脂肪腫でも早めの受診をお勧めします）
- 悪性腫瘍切除後の再建（乳房再建など）
- 陥入爪・巻き爪（手術治療あり）
- 皮膚表面の症状、疾患（耳瘻孔、副耳、耳垂裂、毛巣洞、臍ヘルニア、ケロイドなど）

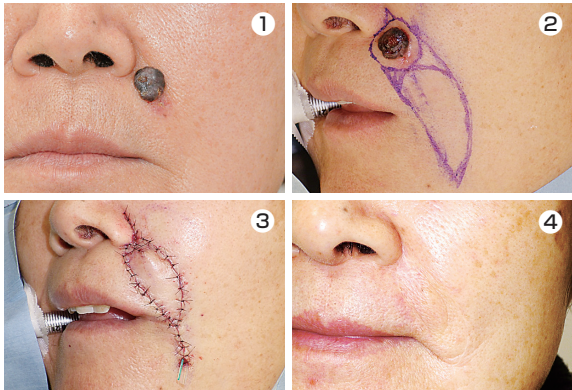


写真 基底細胞がんの切除例

切除辺縁5mm。④は術後6ヵ月。

有棘細胞がん、悪性黒色腫）が多くなっています（写真）。皮膚腫瘍は、目で見て発生がわかりますから、早めに受診すれば、侵襲の少ない手術で切除できます。これはと思うら早期の受診をお勧めします。

日本で形成外科が診療科となって50年以上経過しています
が、まだ形成外科を標榜している病院は多くなくどのような時にかかればいいのか、わかりにくい面

形成外科とは？

今年4月から立川
相互ふれあいクリニ
ックに形成外科を開
設しました（月曜日
・木曜日午後13:00
～15:30、予約不
要）。

もあると思います。私が学生の時に受けた説明は、「形成外科とは、生きるためだけではなく、より良い生活のための医療」というものでした。先天的な異常や、後天的な怪我や病気によって生じた、身体表面の見た目や機能の不具合を改善する治療を行う診療科です。

耳鼻咽喉科や皮膚科の診療とオーバラップする部分が多

表に挙げた症状・疾患などで直接、形成外科を受診いただいても結構です。耳

受診・利用方法は？

“Quality of Life”の向上に貢献したいと考えています。

鼻咽喉科や皮膚科、整形外科など他科の医師からの紹介で形成外科の治療を始めるケースも多くあります。手術は、ふれあいクリニックの処置室で可能なものは外来通院で行います。入院を要する場合には、立川相互病院で手術を行っています。どうぞお気軽にご相談ください。

かつては診療対象として交通事故による外傷、熱傷、褥瘡、

かったのですが、社会状況の変化により、これらの手術は減少し、最近では、皮膚腫瘍(特に顔面)の取り扱いが増えていきます。とくに高齢化に伴い、皮膚悪性腫瘍(基底細胞がん

グループホームに入居される事前の準備としては、ご本人やご家族などの関係者とお会いし、ご本人の健康状態や現在の様子、これまでの生活歴、趣味や好きな食べ物などをお聞きします。本人に関わるさまざまな情報を職員同士で共有し、利用者さんの人



第21回

AさんとY君の、
穏やかで優しい会話

松本 育也

(グループホームえがおの家・介護福祉士)

となりを把握して、
施設にお迎えしま
す。

Aさんは現役の頃は新聞社に勤務され、経済部の記者として活躍されていた。本人は物静かで思慮深い印象を人に与えます。発する


活が始まると、若い男性職員Y君とAさんが楽しそうに会話をしている場面をよく目にするようになりました。

施設では利用者さん皆が、毎食後に自分の使った食器を洗います。Aさんが流し台で食器を洗っていると、Y君はAさんに寄り添い「開聞

思いの出の
患者さん
連載

利用者さんの伴走者として一緒に考える

看護学校を卒業してから訪問看護師になり3年が経ちます。結婚・出産を経て、今は時短勤務で働いており、家族の協力を得ながらオンコールにも対応しています。常に仕事で心掛けているのは、利用者さんの伴走者であること。家で生活し続けるために、看護師として支えていくこの仕事は、やりがいがあり、学びがいっぱいあります。



撮影 羽田邦雄



撮影 羽田邦雄

岳には登ったことが
ありますか？」Aさ
ん「そうだな、ある
ねえ」Y君「羊蹄山
は？」Aさん「そう
だな、どうだったか
な？」Y君「原稿の
べ切は、なん時です
か？」Aさん「2時

またAさんとY君はさまざまなシチュエーションで、気が合っているように見受けられ、私はそんな二人を見ていると心がなごみました。もちろんY君は優秀な介護職員なので、

ていきました。

Aさんは年が明けてから容態が急変し、帰らぬ人となりました。突然のお別れでした。お通夜には、えがおの家の職員皆が参列しました。

「だな」Y君「大變です
ね？」Aさん「そ
うだな、慣れたな」
等々。傍から見ている
と、それはまるで
会社の上司と部下と
の会話のようであ
った。

ケアの一環としてAさんと接しているのですが、私にはY君のAさんに対する尊敬の念を感じずにはいられませんでした。やがて私もY君と同じ気持ちへと変化し

「Aさんは今でも僕たちの心の中に生きていて、あの低くて優しい声で『そうだな』と語りかけてくれています。」

「健康のいずみ」にご意見・感想をお寄せください

〒190-0022 立川市錦町1-23-25

健生会「健康のいずみ」

izumi@t-kenseikai.jp

F A X (042)528-2860



今月の人
 こ た け ま い
 小 竹 真 衣
 にしたま訪問看護
 ステーション
 看護師



総合病院 立川相互病院

受付時間：午前 8:30～11:00/午後 12:30～15:30 （土曜 8:30～11:00）
〒190-8578 立川市緑町4-1 総合受付 **TEL** 0570-052585（ナビダイヤル）
（電話予約）平日9:00～17:00/土曜9:00～12:00
救急指定病院／産婦人科、眼科は予約優先です。

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
産婦人科 *妊婦健診、**遺伝 カウンセリング（予）	*坂本 張 池田哲	古明地 黒田	*池田哲 長坂 菅原		*菅原 佐藤 黒田 坂本		*古明地 池田哲 池田麗 **佐藤	エコー外来 （輪番・予）	*池田麗 佐藤①③⑤ 長坂②④ 古明地	産後検診 （輪番・予）	輪番	
眼 科	大久保 横佐古	大久保	横佐古		大久保 矢野	大久保 矢野	大久保 横佐古	大久保	大久保 横佐古	月2回 （不定期）★	月2回 （不定期） ★	
紹介外来	循環器内科 （予）		循環器内科（予） 消化器内外科（予） 糖・代謝内科（予） 形成外科（予）		総合診療科 （予） 循環器内科 （予）		循環器内科（予） 消化器内外科（予）		腎臓内科（予） 循環器内科（予） 消化器内外科（予）	★詳しい日程は、外来にお問 い合わせください。 ※紹介外来は原則、紹介状の ある方の外来となります （完全予約制）。		
脳神経外科	安部（予）		佐々木（予）				安部（予）					

立川相互ふれあいクリニック

受付時間：午前8:30～11:00/午後13:00～15:30/夜間16:30～19:00 診察開始時間：午前9:00～ /午後13:30～ /夜間17:00～
（予約センター）月～金8:30～17:00/土8:30～12:00
〒190-0022 立川市錦町1-23-4 **TEL** 042-524-1371 夜間外来ではできない検査もあります。内科専門外来、健康管理センターは予約制です。

				月		火		水		木			金		土	
				午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	午前		
2 階	内 科	初	診 般	中西里 阿部巧 白川 代診	原田 白川 中村桃②④ 代診	平野史 内田 堀越	水谷 野口 森		塚田 - 岩間(交互) 芹澤 藤井 矢野	島田 南條 矢野②④ 豊原	藤井 高 永倉 堀江②④⑤	浜埜 清水 青木綾 太田	森	佐野 田川 水谷	原田 佐野	平野①②④⑤ 深見①③⑤ 日野①③⑤ 下園②④ 奥泉②④ 青柳②④ 津村③ 阿部③
		予	約	(内)藤井 (呼)土屋 (腎)小川亜 (消)中西	(呼)草島 (リウ)片岡 (神)横山	(呼)阿部 (呼)山田秀 (呼)草島 (呼)唐沢 (腎)小泉博②④ (リウ)横山	(呼)阿部 (呼)草島 (消)吉本 (消)野澤 (腎)小泉博 ②④	(呼)阿部 (消)橋本③ (腎)小泉博②④ (腎)鈴木①③ (腎)大石②④⑤	(内)豊原 (内)島田 (呼)土屋 (消)石井 (消)中谷溪 (神)濱田	(消)田中 (神)濱田 (腎)神田	(内)山田正 (内)安川 (内)小泉豪①③ (内)芹澤 (呼)草島 (呼)阿部 (消)橋本	(内)安川 (呼)土屋 (呼)矢野 (呼)草島 (腎)鈴木	(呼)輪番 (呼)阿部 (呼)土屋	(内)大谷①③ (呼)下浦 (呼)矢野②④ (神)久保田 (神)志知②④ (神)大石 (神)志知	(内)大谷①③ (呼)下浦 (神)久保田 (神)志知②④ (土建塵肺)牛尾①③	(呼)矢野②④ (呼)糸② (呼)丹内③
	耳 鼻 咽 喉 科			高橋		小山	難聴外来(予)		泥谷		倉持	難聴外来(予)		古賀		輪番
3 階	内 科	予	約	(糖・代)長町 (糖・代)井上	(糖・代)山崎英 (糖・代)長町 (糖・代)井上	(内)新井隆 (循)田村②④ (糖・代)寺師 (糖・代)宮城 (糖・代)清水 (糖・代)井上	(循)井上 (循)稲葉		(循)田村①③ (循)新藤 (循)上川 (糖・代)榎山⑤除く (リハ)山田智①③⑤ (糖・代)澁谷 (糖・代)井上	(循)田村①③ (糖・代)榎山⑤除く (糖・代)青柳 (リハ)山田智①③⑤ (糖・代)澁谷 (糖・代)井上	(循)田村 (循)松本 (糖・代)角南 (糖・代)阿部太 (腎)杉田②④	(循)大塚 (循)松本 (糖・代)榎山		(糖・代)榎山 (糖・代)寺師 (糖・代)宮城 (糖・代)山崎英 (糖・代)井上	(糖・代)榎山 (糖・代)宮城 (糖・代)青木 (糖・代)寺師 (糖・代)井上 (心外)新野①③	(糖・代)宮城①③ (糖・代)榎山②④ (糖・代)中島⑤除く
4 階	外 科	一	般	戸田匠	戸田匠(予)	若田 中島			高橋雅 久島(立相紹介)		蜂須賀 小林裕 高橋雅 久島		高橋雅(予) ※夜間外科は2階	中本 中島 松本		
		乳 腺 外 来		輪番					輪番		輪番			輪番		
	皮 膚 科		尾立 大津		尾立 大津	尾立		尾立 大津		澤田 交代医師			尾立 大津	尾立 大津	尾立 大津②④	
	整 形 外 科 * 受 付 終 了 時 間 月～土：午前10時30分		白川 河野 天野		向山 小野 田中康	向山		河原①③⑤ 浅井②④ 伊佐治 星		黒木 山崎 中田			日野出 足田 増田		伊佐治 山田陸	
5 階	形 成 外 科			勝又							勝又					
	健康管理センター(予約制)		安田行(予)		石戸(予)			石戸(予)		石戸(予)			青木(予)		青木(予)	
訪 問 診 療					赤間	清水②④			草島	山田智②④	矢野	藤井		清水	矢野②④	

※皮膚科：大津医師は11月で終了しました。12/1～安田瑞綺医師、2/15～廣瀬医師に交代します。

立川相互
病院付属

子ども診療所

受付時間：午前 8:45～11:15
午後 13:15～16:00
夜間 16:45～19:00
〒190-0022 立川市錦町1-23-25 1階
TEL 042-525-6555 **FAX** 042-525-6556
ネット予約（24時間対応の電話予約は終了しました）

※毎月第4火曜日の午後は休診となります。

◎→診療時間 15：00～16：00												立川 子ども診療所	検索
	月		火		水		木		金		土		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	
一般外来	○		○	◎	○		○	◎	（予）	○	◎	（予）	
専門外来		おしっこ 外来				相談	相談	循環器 ②④			代謝③		
予防接種		○		○		○		○	○		○	○	
乳児健診		○		○		○		○			○		
訪問診療		○											

あきしま相互病院

医療療養型病院199床（療養病棟、回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟）、訪問診療
※ショートステイ、長期の入院に応じます。ご相談下さい。
一般外来は行っていません。
※往診（訪問診療）を受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

〒196-0035 昭島市もくせいの杜2-2-1
TEL 042-500-2077 **FAX** 042-500-2078

立川相互錦町クリニック

受付時間：午前8:30～11:00/午後13:00～15:30
※泌尿器科のみ午前の受付時間は 8：30～10：30となります。
〒190-0022 立川市錦町1-16-15 **TEL** 042-512-8720
（電話予約）平日9:00～17:00/土曜9:00～12:00

	月			火		水			木		金			土	
	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後
精 神 科	永井	永井		永井 小林義 李	小林義	永井	永井		永井	永井	永井			輪番	
泌 尿 器 科	李			李		森川	森川		李		一ノ瀬			森川	
透 析 室	○		○	○		○		○	○		○		○	○	
訪 問 診 療	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○			

※泌尿器科は予約優先です。精神科は完全予約制です。
※2025年2月1日より、健生会ふれあい相互病院の閉鎖に伴い、「立川相互錦町クリニック」と改称し診療を引き継ぎます。

※ふれあいクリニック健康管理センターは、
予約が必要です。

12月

外来診療表

※医療機関内では、これまで
どおり、マスクの着用を
お願いいたします。

略 号
(循)循環器
(心)心 臓
(神)神 経
(呼)呼吸器
(塵肺)じん肺
(消)消化器
(肝)肝 臓
(腎)腎 臓
(糖)糖尿病
(血)血 液
(内代)内分泌・代謝
(リハ)リハビリ
(リウ)リウマチ
(甲)甲状腺
(代)代 謝
(ペ)ペースメーカー
(内)一般内科
(更)更年期
(アル)アルコール
(呼外)呼吸器外科
(CF)大腸内視鏡検査
(GF)上部（胃）
内視鏡検査
(禁)禁 煙
◎ 診 療
(予)予 約
○内の数字は
該当週
(輪番)＝交代制
お問い合わせください。

昭島相互診療所

診療科目：内科 受付時間：午前8:45～12:00/午後13:30～16:00
〒196-0031 昭島市福島町908-17
TEL 042-545-2712 **FAX** 042-545-8825

	月	火	水	木	金	土
午前	安西 渡辺	大山 大坂 蜂須賀	大山 安西 山田(予)①③ 田村(予)②④ PFAS外来	宮城①③ 青柳②④ 安西	大山①③④ 安西 田村①③ PFAS外来	安西①③ 輪番②④
午後			(糖・予)山崎	ワクチン外来		

大南ファミリークリニック

診察科目：内科・小児科
受付時間：午前8:45～12:00/午後(予約)14:00～16:00/
夜間(木)17:00～19:00
〒208-0013 武蔵村山市大南2-1-8
TEL 042-590-0373 **FAX** 042-590-5700

	月	火	水	木	金	土
午前	宮地(内・小児) 金子(内)	青柳(代謝) 奥野(内)	宮地(内・小児) 宮本(内)	南條(内) 小林(内) エコー検査	赤間(内) 堀江(内)	宮地(内・小児)① 長町(内)③ 南條(内)④ ※原則②は休診
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
午後			宮地②④ (小児ワクチン外来・予)			
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
夜間				小林誠(内)④		

国分寺ひかり診療所

診療科目：内科
受付時間：午前8:45～11:30/午後 往診
〒185-0034 国分寺市光町3-13-34 **TEL** 042-573-4011 **FAX** 042-573-4039

	月	火	水	木	金	土
午前	小泉 宮本	吉本 宮本②④ 栄養相談③ エコー検査②	宮本①③⑤ 田中	松本 荻原	古谷 宮本②④	古谷①② 矢可部(予・物忘れ)③④
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
午後	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	

※特定健診、各種予防接種のご予約のお電話をお待ちしております。

羽村相互診療所

診療科目：内科・小児科
受付時間：午前8:30～12:00/夜間17:00～20:00
〒205-0023 羽村市神明台1-30-5 **TEL** 042-554-5420 **FAX** 042-555-3151

	月	火	水	木	金	土
午前	武井 小林(予)①③ 井上(予)②④	江夏 渡邊 桎山(糖・予)②	江夏 木嶋 武井	井上 江夏	菅原 佐々木② 輪番①③④	春木薫(循)① 井上①③ 岸原(循)② 佐々木②④ 春木伸(循)④
午後		飯塚(物忘れ・予)①③	小林(予)		村上 (糖・内泌・内)	
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
夜間			山田(予)①③ 井上(予)②④			

日野台診療所

診療科目：内科・小児科
受付時間：午前8:45～11:30/午後13:45～16:00
〒191-0003日野市日野台4-26-16 **TEL** 042-581-6175 **FAX** 042-581-4070

	月	火	水	木	金	土
午前	寺師	宮地 安田	寺師 一沢	寺師 宮地②④	安田	寺師①③⑤ 輪番② 安田④
		訪問診療				
午後	休診	小児ワクチン (予)①③	休診	休診	赤羽	
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	

府中診療所

診療科目：内科・循環器科・代謝科・整形外科
受付時間：午前8:40～12:00/午後13:30～16:00
〒183-0055 府中市府中町1-13-3 **TEL** 042-365-0321 **FAX** 042-365-0323

	月	火	水	木	金	土
午前	岩本	児嶋(整形) 桂	青木	青木 岩本②③④	中野①②④ 矢野③	國香①③ 小泉豪②④
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
午後	休診	山口	竹田 木住野①③	休診	中野①②④ 矢野③	
	訪問診療	訪問診療②④	訪問診療	訪問診療		

※2025年11月より、火曜日午後の梶尾医師がしばらくの間お休みとなります。

谷保駅前相互診療所

診療科目：内科
受付時間：午前 8:45～12:00/午後 往診
〒186-0003 国立市富士見台1-17-36 **TEL** 042-576-3896 **FAX** 042-571-6657

	月	火	水	木	金	土
午前	輪番 鎌尾(①③ ～10:00)	赤間 矢野	小松 関谷	木戸 鎌尾	鎌尾	木戸① 石川① 滝沢②④ 矢野③
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
午後	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	

すながわ相互診療所

透析診療(予約制)：昼間透析 月～土/準夜透析 月・水・金
〒190-0002 立川市幸町5-9-2 **TEL** 042-538-1502 **FAX** 042-534-0372

八王子共立診療所

診療科目：内科・呼吸器内科・糖尿病内科・整形外科
受付時間：午前8:45～12:00/午後14:00～16:30
〒192-0082 八王子市東町2-3八王子共立ビル1階
TEL 042-639-7621 **FAX** 042-643-1115

	月	火	水	木	金	土
午前	奥野(内) 伊藤(内・糖) 野口(内)	飯塚(物忘れ・予)①③ 小松(内) 石川(内)	奥野(内) 関野(内)②④ 野口(内)①③⑤	杉山(内) 中西(内) 唐沢(内・呼) ～11:00	杉山(内) 奥野(内) 野口(内)	奥野(内)①③⑤ 野口(内)② 石川(内)④ 河野(整外)①③
		訪問診療		訪問診療	訪問診療	
午後	伊藤(内・糖) 栄養指導(予)		奥野(内)	角南(糖・予)		
	訪問診療	訪問診療	訪問診療		訪問診療	

ながふさ共立診療所

診療科目：内科・小児科・麻酔科・糖尿病内科・整形外科
受付時間：午前8:50～12:00/午後13:45～16:30
〒193-0824 八王子市長房町1462-5 **TEL** 042-664-1005 **FAX** 042-664-6037

	月	火	水	木	金	土
午前	松田(内・小児)	宮平(内)	松田(内・小児)	奥野(内) 野口(内)	田口(内・循) 松田(小児) 11:30～12:30	松田(内・小児)① 須藤(内・小児)③⑤ 西川(整外・予)②④
		訪問診療			訪問診療	
午後	松田(内・小児) ～18:00	国東(内・糖)②④ 濱田(内)①③⑤ 川尻(胃カメラ・予)①③ 超音波検査(予)②④	松田(小児ワクチン外来・予)②④	松田(内・小児)		岩城(整外・予)①③
		訪問診療				

多摩みなみクリニック

診療科目：内科・呼吸器内科・整形外科 (予約制)
受付時間：午前8:45～12:00/午後13:30～16:30
〒206-0025 多摩市永山1-7-8 **TEL** 042-311-4415 **FAX** 042-389-4044

	月	火	水	木	金	土
午前	田村(内)	安西(内)	三次(内)	中原(内)	谷中(内) 超音波検査(予)①③	田中(内)
午後	田村(内)	安西(内)		中原(内)宮下 (糖)②④ 安部(整外)①③		

相互歯科

診療科目：歯科・小児歯科・矯正歯科
受付時間：午前8:45～12:00/午後～16:30/夜間～19:00
予約制急患随時 ※急患の方は、まずはお電話にてご連絡ください。
〒190-0022 立川市錦町1-17-10 **TEL** 042-525-6480 **FAX** 042-522-0348

	月	火	水	木	金	土	診療時間
午前	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	9:00～13:00
午後	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療		○ 訪問診療	14:00～17:00(月・火・水・金・土) 13:00～17:00(木)
夜間				○			17:00～19:00

相互歯科地域口腔保健センター 訪問診療部 (電話080-3384-3575)

けんせい歯科

診療科目：歯科・小児歯科・矯正歯科
〒192-0082 八王子市東町2-3 八王子共立ビル4F
TEL 042-646-8883 **FAX** 042-646-8805

	月	火	水	木	金	土	診療時間
午前	○ 訪問診療	○	○ 訪問診療	○	○	○	9:00～13:00
午後	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療		○	14:00～17:00(月・水・木・土) 14:00～19:30(火)

往診(訪問診療)は、診療所・歯科診療所で受け付けています。

▶訪問看護ステーション

いずれも午前9時～午後5時まで、FAXは24時間受け付けます

健生会にしき (立川南部)	TEL 042-522-3621 FAX 042-522-3683	健生会東中神 (昭島)	TEL 042-546-2919 FAX 042-546-2973
サテライト さかえ (立川北部)	TEL 042-537-3441 FAX 042-537-3468	健生会緑が丘 (武蔵村山)	TEL 042-563-2133 FAX 042-562-8098
健生会しんまち (府中)	TEL 042-336-0600 FAX 042-336-0603	健生会ひのだい (日野)	TEL 042-582-7110 FAX 042-582-7118
健生会日吉町 (国分寺)	TEL 042-573-6599 FAX 042-573-6998	健生会にしたま (羽村)	TEL 042-570-1815 FAX 042-570-1816
健生会きょうりつ (八王子)	TEL 042-645-6373 FAX 042-645-6637		

▶介護相談・ケアプランの作成

健生会ケアプランセンター昭島	TEL 042-544-9970
健生会ケアプランセンター国分寺	TEL 042-577-1701
健生会ケアプランセンター羽村	TEL 042-555-3180
健生会ケアプランセンター日野	TEL 042-581-4093
ケアプランセンターなのはな立川 (三多摩福祉会)	TEL 042-523-7026
ケアプランセンターいきいき (八王子/いきいき福祉会)	TEL 042-639-7625

▶地域包括支援センター

府中市地域包括支援センターしんまち	TEL 042-340-5060 FAX 042-340-5622
国分寺地域包括支援センターひかり	TEL 042-573-4058 FAX 042-573-4059

▶デイサービス

健生会デイサービスセンターたんぼぼ (八王子)	TEL 042-639-7630 FAX 042-639-7635
-------------------------	--